

工事説明会でいただいたご意見等について

大阪市建設局
淀川左岸線 2 期建設事務所

令和 2 年 9 月に実施しました「淀川左岸線（2 期）事業に伴う 3 工区仮堤防整備他工事」の工事説明会において、ご参加いただきました皆さまから、たくさんの貴重なご意見等をいただきました。

この度、いただいたご意見等並びにその回答を次のとおりまとめましたので、お知らせいたします。なお、工事説明会時に口頭で回答いたしました内容もあわせて記載しております。

皆さまからのご意見等を真摯に受け止め、今後の円滑な事業進捗に活かしてまいりたいと考えておりますので、引き続き、淀川左岸線（2 期）事業へのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和2年9月23日（水）の工事説明会での質疑応答

（質問） 資料では毛馬出張所からのルートで、工事用大型車両の日平均通行台数が非出水期の通常時で100台とあるが、これは往復をカウントしての台数か。

（回答：施工者） 10tダンプトラックを想定していますが、盛土材を日当たり400m³運搬する計画としており、1台の運搬量が約4m³として片道100台と考えているので、往復では200台になります。

（質問） 仮堤防の完成後の天端は既設堤防の天端よりも高くなるのか。

（回答：国土交通省） 仮堤防の高さは、現在の堤防と同じになります。

（質問） 2年前に中津小学校の児童が痛ましい事故により死亡した。それ以後、地域の方々に登下校時の見守りなどのご協力をいただいている。今回の工事において周辺の通行止めをする計画はあるのか。

また、交通誘導員のマナーの向上など指導教育をお願いしたい。交通誘導員はどこに配置するのか。

（回答：施工者） 本工事の工事車両は、毛馬の方から河川敷の通路を通行するので、中津地区の周辺道路を通行したり、通行止めをする予定はありません。交通誘導員の指導については、施工業者として責任をもって対応していきます。

交通誘導員の配置箇所は、毛馬出張所の出入り口と緊急河川敷道路の長柄橋下付近にゲートを設けるので、その2箇所を考えています。トレーラー等が走行する本庄西天満線においては、工事ヤード出入口のゲート前に配置する計画としております。

なお、埋設工事などの関連工事にて中津地区の周辺道路の通行止めの計画がありますので、工事発注者に対して、交通誘導員の指導教育について周知いたします。

（質問） 下水管撤去、水道管撤去、関電の埋設管撤去などの工事が現在周辺で盛んに行なわれているが、これらの工事の着手前に説明会は行われたのか。振動が激しく迷惑している。騒音は我慢できるが振動は我慢できない。この周辺は地盤が悪いことを考慮願いたい。

（回答：大阪市） 現在施工中の下水道管などの埋設工事の説明会の実施はしておりません。

今回の説明会は本体工事の最初のステップとなる仮堤防工事の説

明会であり、今後トンネル本体工事が契約できれば、改めてその工事に関する説明会を実施していく予定としております。

今回の工事においても護岸の撤去が予定されておりますが、堤防より川側での作業であるので振動や騒音は少ないと考えています。

一方、各埋設物の撤去工事については、各企業者に振動や騒音を軽減させるように本市から連絡いたします。また、今後本市が発注する支障物撤去工事においても同様に対策を講じて施工するよう受注者に指導していきます。

（質問） 毎日震度3程度の揺れが続いている。酷い時は震度5くらいの揺れを感じる時もある。家屋に影響が出た場合どのような補償をしてもらえるのか。

（回答：国土交通省） 今回の仮堤防工事の施工により振動や騒音があった場合は、連絡をしていただければ、ご自宅に訪問させていただき振動、騒音を測定するなど適切に対応させていただきます。

ただし、本工事は現時点では、未着工であるため、現在の振動の原因については、下水工事などの先行工事だと思われるので、それぞれの担当者に申し伝えておきます。

（質問） 家屋調査はどのような基準で行われるのか。

（回答：国土交通省） 今回の工事により、家屋に影響が生じる可能性がある場合は家屋調査を実施いたします。

（質問） 工場を営んでいるためトレーラー等の大型車両が出入りするが、将来南岸線が整備されると交通量が増え、歩道ができることで現在よりも出入りが難しくなるのではないか。

現在の準備工事は説明会もなく急に始まった気がしている。下水工事による振動というのであれば何故今日は下水工事の担当者がいないのか。下水工事から説明もなかった。

（回答：大阪市） 淀川南岸線は川側に拡幅する計画であり、2車線の車道と南側に歩道を整備しますが、現在より車道幅員が広がるので、出入りに関しては支障としないと考えています。

なお、淀川南岸線整備に際して、沿道に車の出入りがある場合は歩道の切り下げなど、個別に対応いたします。

今回は、淀川左岸線（2期）事業の仮堤防の工事説明会であるため、別件の工事関係者は出席しておりませんが、下水工事の担当部署には

今回のご意見について共有し、沿道の皆様方には、工事の周知として、工事説明のチラシなどを配布するように調整いたします。

（質問） 作業終了時間が 18:30 となっているが、その時間までに工事車両がいなくなるのか。作業の休みはどのような計画か。

（回答：施工者） 本工事の施工現場では、作業を 18:00 に終了し、18:30 までに工事車両が退場する予定で考えています。工事は基本的に土日と祝祭日は休工とする計画としております。

（質問） 仮堤防を現状の法尻より川側に 15m 広げることでヨシ原の面積が減るのではないかと。また河川管理者は認識しているのか。

（回答：大阪市） 仮堤防を川側に前出しするため、一時的にヨシ原の面積が減ることになりますが、トンネル本体が完成して堤防を復旧する際には、今回施工の仮堤防を一部撤去することとなり、撤去すれば復旧後の堤防の法尻までヨシ原も自然に復元すると考えております。

今後、堤防復旧の設計を進めていきますが、川側の傾斜が現在よりも緩い勾配の堤防になるため、現状よりヨシ原の面積が減ることになります。

（回答：国土交通省） 今回の工事で堤防を川側へ前出しすることでヨシ原が減少することは、河川管理者として認識しております。その対策として工事エリア全体でヨシ原の面積の減少を抑えるため、阪急電鉄より下流側においてヨシ原を増やす試みをしております。

（質問） 近年の大雨を想定して堤防の設計をしているのか

（回答：大阪市） 大雨に対する堤防の安全性の確認は、淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会において検討しており、安全であることを確認しています。

（質問） 豊崎出入口は平成 30 年当時の説明会で、南岸線と接続することとなっていたが、今回の資料では違っている。変更となった理由を豊崎の住民に説明して欲しい。

（回答：大阪市） 豊崎出入口については、平成 30 年度に開催した淀川左岸線（2期）の説明会の資料と今回の説明会の資料は同じものであり、変更はしてありません。

淀川南岸線との接続については、新御堂筋東側の淀川左岸線延伸部と接続いたします。淀川左岸線延伸部は、国土交通省、阪神高速道路

（株）等による事業となっておりますので、豊崎での説明の件につきましては、淀川左岸線延伸部の事業者とも調整し検討いたします。

（質問） 今後の地盤改良、トンネル本体築造、堤防・上面整備は、その都度説明会が開催されると理解して良いか。

中津、豊崎地区においては淀川左岸線（2期）工事だけでなく、JR工事、市営住宅建替え工事、水道工事などが輻輳している。

大型車両が走ることで非常に大きな振動も発生している。また、二度と悲しい事案を起こさないように慎重に作業を行ってほしい。

（回答：大阪市） トンネル本体工事の契約が完了すれば、工事説明会を開催する予定です。中津、豊崎地区では、工事が輻輳しておりますので、工事車両の通行は、周辺環境に配慮し、安全には十分に注意して工事を行ってまいります。

（質問） この工事で大型車両が通常時で往復200台として、他の淀川左岸線（2期）事業の工事でも大型車両の走行が予想される。そうすると膨大な台数が走行することとなる。台数調整等はするつもりか。

（回答：大阪市） 本工事以外でも、本工事の工事ルートを淀川左岸線（2期）関連工事の工事車両の走行を予定しています。車両が多くなる場合は、工事ルートを管理している河川管理者とも協議しながら調整を行っていきます。

（質問） 南海トラフ巨大地震が発生した場合や津波が来ても、仮堤防や完成後の堤防は強度的に大丈夫なのか。

（回答：大阪市） 淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会において、仮堤防や完成後の堤防の地震への影響を検討しており、東日本大震災や阪神淡路大震災級の地震が発生しても、堤防機能の安全性に問題がないことを確認しております。また、地震による津波が来ても大丈夫な堤防の高さとしており、現在の堤防と同等の安全性を確保しております。

（質問） 地震により液状化が発生し堤防の法面が崩れたり、水流により削れたりすることは無いのか。

（回答：大阪市） 淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会において、地震により液状化が発生しても、堤防機能の安全性に問題がないこと

を確認しております。また、洪水時等の水流によって堤防の法面が侵食されないよう遮水シートで堤防への水の侵入を防ぎ、ブロックマットで堤防の表面を保護することで堤防の安全性を確保しております。

令和2年9月27日（日）の工事説明会での質疑応答

（質問） 工事期間中における防災対策をどのように考えているのか説明願いたい。

（回答：国土交通省） 本工事での1期施工区間は基本的に非出水期に施工します。現状の堤防を川側に前出しするので、現在の堤防を残した状態で前面に盛土する工事であり、現在の堤防と同じ高さとなります。また、通期施工区間は、堤防前面に二重締切の鋼矢板を打設してから、現在の堤防を掘削します。いずれの場合においても、常に現状と同等の堤防機能が存在する計画となっております。

（質問） 堤防機能を現在と同等にするのは当然のことである。仮に非出水期であっても降雨で増水して堤防が決壊する危険性が起こった場合、河川管理者としてどのような防災体制を行うのかを聞きたい。

（回答：国土交通省） そのような事案はないと考えているが、仮にそのような事態が発生した場合は、施工業者である前田建設工業(株)の機動力を用いて迅速に対応してまいります。

（質問） ヨシ原が15m減少すると資料に書かれているが、工事により影響を受ける面積と更に川側に車を走らせるような図になっているが、どのくらい減少する計画となっているのか説明願いたい。

（回答：国土交通省） ヨシ原が影響を受ける範囲については、これから測量を行うので明確な面積を把握できておりません。なお、川側の工事用道路も含めて15m程度と考えています。

（質問） この周辺で工事用車両の走行が増えると思われるエリアはどこになるのか。

（回答：施工者） 本工事では、基本的に工事車両は国土交通省毛馬出張所の出入口を使用することとしており、当該出入口までは幹線道路の城北公園通を走行する計画としております。なお、トレーラーについては、本庄西交差点から出入りすることとなります。

（質問） 幹線道路を走行する際に児童の通学時間を考慮しているのか。

（回答：施工者） 基本は城北公園通を通過し、毛馬橋の西側から入退場を行います。また、本庄地区に入る車両については通学時間を外し、9:00以降の入場としております。なお、工事関係車両の運転手には事前に走行ルートの指導徹底、安全走行と交通法規を遵守するよう教育を行ってまいります。

（質問） 中津・豊崎地区ではJR工事も含め多くの工事が輻輳して行われている。それぞれの工事で多くの交通誘導員が配置されている。それらの交通誘導員に他工事の車両の情報や指示などをどのようにしているのか聞かせてもらいたい。

（回答：大阪市） 過去にオオサカメトロの工事において痛ましい事故が発生しましたが、その工事は既に終了し、現在は再発防止のため、JRの地下化工事において、輻輳する各工事との連絡調整などを取り仕切っております。今回の工事で中津地区を工事車両が走行することはございませんが、JR工事の業者と連携を図り工事の情報共有を行ってまいります。

（質問） 現在輻輳している別件の工事関係者などが本日出席していないのはなぜか。

（回答：大阪市） 今回は、淀川左岸線（2期）事業の仮堤防の工事説明会であるため、別件の工事関係者は出席しておりません。なお、各工事の担当部署には今回のご意見について周知いたします。

（質問） 説明のあった今後契約予定の障害物撤去工事の施工において、阪急電鉄東側から新御堂筋までの南岸線を通行止めなどの規制をするのか。

（回答：大阪市） 今後契約予定の障害物撤去工事では、白い万能塀で囲っている川側で工事を行いますので、現道を規制することはありません。また、河川工事と同様に工事車両についても毛馬出張所から進入し、トレーラーについても本庄西交差点から入退場する計画としております。

なお、関連する埋設企業体の工事では、阪急電鉄東側から新御堂筋までの南岸線を通行止めして工事を実施しております。

（質問） なぜ仮堤防工事だけの説明会なのか、本体工事の説明はなぜしないのか。

（回答：大阪市） 本日は淀川左岸線（2期）事業の仮堤防工事を開始するということで説明会を開催させていただいております。

今回は仮堤防の工事であり、今後、地盤改良、トンネル本体築造、堤防・上面整備の工事と順番に行っていきます。次の工事の施工業者が決定し施工計画が立案されれば、詳細の内容について、説明会を開催させていただきます。

（質問） 既に家屋に振動等で損傷が出ている。今後どのように補償してもらえるのか。

（回答：大阪市） 一般的に工事の影響範囲に入っていれば、工事着手前に家屋調査をさせていただき、工事完了後の家屋調査にて、本工事による損傷の有無が確認されれば、補償等の対応をさせていただくことになります。

今回の仮堤防の築造工事では、堤防より川側での作業となるため、沿道民家との距離が離れており、家屋調査の対象範囲ではないと考えております。

（質問） 下水工事の担当者に工事による家屋損傷を申し出たが、影響範囲外だと言われた。

（回答：大阪市） こちらで下水工事の担当者に確認し、連絡させるようにいたします。

（質問） 複数の家で振動が発生している現状に今後どのような対応をしているのか。

（回答：大阪市） 振動を抑制する機械を使用するなど対策を講じて工事を行います。振動など不具合があった場合は工事の担当部署に連絡をお願いします。振動を測定するなど適切な対応を考えていきます。

（質問） 質疑応答に関してはHP上で公開すると言われていたが、日時や質問内容と回答内容のやり取りを明確にして議事録形式で掲載してもらいたい。また、出席者全員はもちろんのこと、HPを見ることができない方も含めて、地域住民の全てが内容を確認できるように公表してもらいたい。

（回答：大阪市） 本説明会での質疑内容を分かりやすく公表することといた

します。周知の仕方については、HPだけでなく町会を通じて回覧するなどして公表してまいります。

（質問） 今回工事する仮設堤防の状態が何年ほど続くのか。また、今回の工事より下流においては、仮堤防にコンクリートブロックが使用されているが、今回の工事では遮水シートとブロックマットという簡易な構造となっているが、強度的に大丈夫なのか。

（回答：大阪市） 仮堤防はこの10月から工事を開始して、本堤防に復旧するまでの5年～6年程度の期間、仮堤防の状態が続くこととなります。

阪急電鉄京都線より下流側の堤防については、高潮対策用の堤防形式となっており、コンクリートで覆われた構造となっています。このため、この区間の仮堤防は、高潮対策としてコンクリートブロックを使用しております。

一方で、今回の工事範囲の堤防は、高潮区間ではなく、洪水対策用の堤防となるため、洪水時の流速に耐えうるものとして、土の堤防にブロックマットを設置する計画としております。

（質問） 以前の本庄水管橋撤去工事において、堤防を串刺ししている箇所の橋のトラス部材や水道管を撤去していた。その際に、串刺し部を撤去して堤防が掘削され開放されたままの状態がゴールデンウィークになり、数日間工事を休止して放置されていた。非出水期とはいえ、仮に大雨が降って増水したら大変なことになっていたと思う。そのような危機管理意識が河川管理者にはないように感じるが、いかがなものか経緯を教えてください。

（回答：大阪市） もともと水管橋は堤防を一部切り欠く形で設置されていましたが、工事のなかで、堤防を更に切り下げるようなことはしていないと認識していますが、この場には当時の工事を詳細に把握している者が同席していないため、改めて、当時の状況を確認して、説明させていただきます。なお、この工事の手順については、河川管理者と協議して了解を得て行っているものです。

（回答：国土交通省） 一連の施工に関しては事前に河川法の申請をしてもらって、許可をしているので、河川管理者としても問題がないと判断しております。

（後日回答：大阪市） 工事の詳細を確認すると、河川管理者と協議をした上で、水道管の撤去時に、一次的に堤防を更に切り下げて工事を行っていましたが、ゴールデンウィーク中は、元の堤防の高さに戻してから、

工事を一時休止しておりました。

（質問） こういった堤防に影響が生じる工事の工程は誰が管理していくのか。

（回答：国土交通省） 堤防に影響が生じる工事の工程に関しましては、淀川河川事務所福島出張所で管理していきます。

（質問） 水害等が発生した場合、緊急時の連絡体制は休日でも夜間でも可能な
のか。

（回答：国土交通省） 淀川河川事務所福島出張所に電話をしてもらえれば、休日や夜間であっても枚方の淀川河川事務所に転送されます。情報連絡員が常駐しているので、24時間連絡がとれる体制をとっており、緊急事態が発生しても即座に対応できる状況です。

（質問） 中津地区は多くの工事が行われておりダンプ台数も非常に多くひっ迫している。今後、うめきたの工事も開始されていく中で、全体管理という形で統制を図る部署を作ってもらいたい。

（回答：大阪市） 今後こういった形で統制していくのか、検討してまいります。

（質問） 交通誘導員は自らの工事に関係する車両だけを誘導する傾向にある。歩行者や一般車両を優先した誘導を心がけるようにしてもらいたい。

（回答：大阪市） 関係者全員に周知して改善していくように努めます。

（質問） 最近トンボが飛ばなくなったという意見を子供から聞いた。工事の影響によるものかわからないが、一度ヨシ原における生物調査を行ってもらえないか。

（回答：大阪市） 本工事の着手前に、淀川の自然環境に関する様々な調査を実施しておりますが、本日は詳細な資料を持ち合わせておりませんので、後日改めてご説明させていただきます。

（後日回答：大阪市） 淀川左岸線（2期）事業については、植物、昆虫、底生動物、魚類などの自然環境の専門家等で構成される淀川環境委員会に諮り、事業を進めております。淀川左岸線（2期）の工事範囲にかかる植物、昆虫、底生動物、魚類の調査については、すでに実施しており、淀川環境委員会の意見に従い工事を進めていきます。

（質問） 周辺の工事との安全対策について先ほど検討すると言われたが、今後どのように改善を実施していくのか、回答期日を教えてもらいたい。

（回答：大阪市） いつまでに回答できるかは、他工事とも調整を図らなければならないので即答はできませんが、なるべく早く答えられるように努力したいと考えています。